

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (746), 課コード (0604), 会計種別 (公営企業会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including objectives, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple sub-tables for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with a progress status table.

Final evaluation table with columns for 評価 (Evaluation) and 改善策及び展開方向 (Improvement measures and expansion direction).

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (749), 課コード (0604), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed financial breakdowns for fiscal years 2019, 2020, 2021, and 2022.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, citizen participation, environmental consideration, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation section with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a progress status legend and a space for final comments and future strategies.

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (750), 課コード (0604), 会計種別 (公営企業会計), 予算の種類 (政策, 經常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sections for (1) 事業が必要である理由・背景, (2) 市が実施する必要性, (3) 参加・協働の工夫, (4) 環境への配慮, (5) 目標設定は適切か?, (6) 事業費削減の工夫, (7) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か?

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a row for 評価 and a row for 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (751), 課コード (0604), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 經常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple rows for different criteria like necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with a row for overall status and improvement directions.

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	752	課コード	0604	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	雨水貯留タンクの設置補助		実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	建設部・治水課		
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市					
	⑤事業期間	～			⑥担当職員数	4人 (換算人数)		0.17人			
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	1,979千円		当該(開始)年度	(当初)	1,979千円 (うち人件費 1,479千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)	
	⑧施策の位置づけ	施策コード	62402	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名)	
(2) 目的	施策目的・展開方向	市街地での浸水被害の軽減を図るため、住宅などの敷地内における雨水貯留タンクの設置を支援するとともに、浸透ますや浸透トレンチなどの雨水浸透施設の普及促進を図ります。			事業目的	雨水貯留タンク設置者への補助制度により設置を促進する事で、雨水の流出を抑制し浸水被害の起こりにくいまちへの意識向上を図る。					
(3) 事業内容	内容	雨水貯留タンク設置予定者からの申請を審査し、設置後に検査を行って補助金を交付する。			当該年度執行計画	申請を審査し、設置後に検査を行って補助金を交付する。					
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)	我孫子市雨水貯留タンク設置補助金交付要綱の周知を図り、雨水貯留タンクの設置を促進する。			指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
当該年度		我孫子市雨水貯留タンク設置補助金交付要綱の周知を図り、雨水貯留タンクの設置を促進する。			直接	雨水貯留タンクの累積設置基数		基	594	610	
令和3年度		我孫子市雨水貯留タンク設置補助金交付要綱の周知を図り、雨水貯留タンクの設置を促進する。			直接	雨水貯留タンクの累積設置基数		基		626	
令和4年度		我孫子市雨水貯留タンク設置補助金交付要綱の周知を図り、雨水貯留タンクの設置を促進する。			直接	雨水貯留タンクの累積設置基数		基		642	
(7) 事業実施上の課題と対応		助金制度の周知は、進んでいない状況がある。広報及びホームページ等によるPR活動を継続して実施すると共に、他の周知方法を検討の上で積極的な周知活動に努める。			代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度			
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
			雨水貯留タンク設置補助金	500		雨水貯留タンク設置補助金	500		雨水貯留タンク設置補助金	500	
		予算(決算)額	合計	500	合計	500	合計	500	合計	500	
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0		
	県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0		
	起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0		
	一般財源		500		500		500		500		
	その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0		
(10) 人件費等	換算人数(人)		0.16		0.17		0.17		0.17		
	正職員人件費		1,408		1,479		1,479		1,479		
	嘱託職員報酬額		0		0		0		0		
	臨時職員賃金額		0		0		0		0		
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		1,908		1,979		1,979		1,979		
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)			119.25千円/基		123.69千円/基						

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	近年多発傾向にあるゲリラ豪雨を含めた総合的な水害対策の一環として、雨水流出抑制の効果がある雨水貯留タンクの設置を促進し普及に努める。普及が進むことにより、都市型水害の軽減及び雨水の再利用に対する市民意識の向上が図れる。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 ●②自治体である市が推進すべきである(理由) ■市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他		<その他の内容>		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		
	○①事業計画時に市民の参画有り ●②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他 <その他の内容>		雨水流出抑制対策として、市民が雨水貯留タンクを設置することに対し、行政として補助金を支給している。				○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している ■④環境負荷低減に貢献している □⑤その他 <その他の内容>		雨水貯留タンクの普及により、雨水流出抑制に寄与している。				○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(基)	目標値(b)(基)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		○①目標値達成 ○②目標値未達成		
	594	610	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象が有る場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(基) 達成率(%) (f/b×100)		<目標を達成した理由/未達成となった原因>		
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 □②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g)(千円) 対事業費(%) (g/c)×100		○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
	事業費削減率(%)		<削減の内容>		<超過理由等>				
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		
	0.81	単位 費用単位	○①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ●②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h) 対目標値(%) (h/e)×100		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									

評価	評価コメント	改善策及び展開方向
----	--------	-----------

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (753), 課コード (0604), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Main project overview table including purpose, content, budget, and performance indicators.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns for evaluation items, pre/post evaluation, and improvement checks. Includes sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns for current status (e.g., 現状どおり推進) and evaluation comments.

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	755	課コード	0604	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)												
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	排水施設堆積物撤去業務		実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	建設部・治水課			
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市						
	⑤事業期間	～			⑥担当職員数	4人 (換算人数)		0.26人				
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	22,262千円		当該(開始)年度	(当初)	22,262千円 (うち人件費 2,262千円)					
	⑧施策の位置づけ	施策コード	62401	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名)		
(2) 目的	施策目的・展開方向	市街地での浸水被害を軽減するため、計画的に幹線排水路、ポンプ場などの雨水排水施設や、調整池などの雨水流出抑制施設の整備・改修を進めるとともに、施設の適切な維持管理を行います。			事業目的	道路や宅地内に降った雨を円滑に排除するために、排水施設の調査及び堆積物撤去工事を行い、十分その機能を発揮できるように維持する。						
(3) 事業内容	内容	調整池、排水路、管渠等の堆積物撤去工事。			当該年度執行計画	調整池、排水路、管渠等の堆積物撤去工事。(4月～3月まで)						
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値		
当該年度	堆積物撤去工事により、排水施設の機能を十分発揮できる。				直接	調整池、排水路、管渠等の堆積物撤去工事箇所数		箇所	0	20		
令和3年度	堆積物撤去工事により、排水施設の機能を十分発揮できる。				直接	調整池、排水路、管渠等の堆積物撤去工事箇所数		箇所		20		
令和4年度	堆積物撤去工事により、排水施設の機能を十分発揮できる。				直接	調整池、排水路、管渠等の堆積物撤去工事箇所数		箇所		20		
(7) 事業実施上の課題と対応	雨水排水施設が多いために十分な調査が出来ないところがあり、苦情等が出てから対応することもある。				代替案検討	○有 ●無						
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度			令和3年度		令和4年度			
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
			堆積物撤去工事費 堆積物撤去工事費(下水道特会)	17,700 5,000		堆積物撤去工事費 堆積物撤去工事費(下水道特会)	17,000 3,000				堆積物撤去工事費 堆積物撤去工事費(下水道特会)	17,000 3,000
		予算(決算)額	合計	22,700	合計	20,000	合計	20,000	合計	20,000		
		(9) 財源内訳	国庫支出金 補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0		
(10) 人件費等	国庫支出金 補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0				
	県支出金 補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0				
	起債 充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0				
	一般財源	17,700		17,000		17,000		17,000				
	その他の財源	5,000	■特会 □受益 □基金 □その他	3,000	■特会 □受益 □基金 □その他	3,000	■特会 □受益 □基金 □その他	3,000	■特会 □受益 □基金 □その他			
換算人数(人)	0.26		0.26		0.26		0.26					
正職員人件費	2,288		2,262		2,262		2,262					
嘱託職員報酬額	0		0		0		0					
臨時職員賃金額	0		0		0		0					
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	24,988		22,262		22,262		22,262					
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	1,249.4千円/箇所		1,113.1千円/箇所									

2. 事業の評価 (DO+CHECK)										
評価項目	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討	
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	道路や宅地内に降った雨を円滑に排除するために、排水施設の調査及び堆積物撤去工事を行って十分その機能を発揮できるようにする。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要	
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている ■提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>		○要 ○不要
参加・協働の工夫		参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし						○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>			
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要	
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし						○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>			
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(箇所)	目標値(b)(箇所)	目標値の妥当性のチェック			達成状況		○①目標値達成 ○②目標値未達成		
	0	20	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である			実績値(f)(箇所) 達成率(%) (b/f)×100		<目標を達成した理由/未達成となった原因>		
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策			実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 □②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託			実績値(g)(千円) 対事業費(%) (g/c)×100		○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
	22,262	2,726	<削減の内容>			<超過理由等>				
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法			達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		
	0.9	100万円	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費			実績値(h) 対目標値(%) (e/h)×100		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント					改善案及び展開方向				

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	756	課コード	0604	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)														
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	排水施設の草刈業務		実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	建設部・治水課					
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市								
	⑤事業期間	～			⑥担当職員数	4人 (換算人数) 0.25人								
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	51,603千円		当該(開始)年度	(当初)	51,603千円 (うち人件費 2,175千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)				
	⑧施策の位置づけ	施策コード	62401	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名)				
(2) 目的	施策目的・展開方向	市街地での浸水被害を軽減するため、計画的に幹線排水路、ポンプ場などの雨水排水施設や、調整池などの雨水流出抑制施設の整備・改修を進めるとともに、施設の適切な維持管理を行います。			事業目的	草刈り等を実施することで有効な流水断面を確保し、良好な状態を維持及び河川環境を保全する。								
(3) 事業内容	内容	排水施設周辺の環境を保全するために、定期的な草刈を行う。			当該年度執行計画	草の繁茂する時期(5月～12月)に草刈を行う。								
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)	市民生活の安全と流水断面の確保及び河川環境を保全する。			指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値				
当該年度	市民生活の安全と流水断面の確保及び河川環境を保全する。	直接	草刈面積	ha	0	16.7								
令和3年度	市民生活の安全と流水断面の確保及び河川環境を保全する。	直接	草刈面積	ha		16.7								
令和4年度	市民生活の安全と流水断面の確保及び河川環境を保全する。	直接	草刈面積	ha		16.7								
(7) 事業実施上の課題と対応	市民の要望・苦情に対し、委託業者との連絡を密にする。	代替案検討	○有 ●無											
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度						
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		草刈委託料	48,294	草刈委託料	47,355	草刈委託料	47,355	草刈委託料	47,355					
		草刈委託料(下水道特会)	1,971	草刈委託料(下水道特会)	2,073	草刈委託料(下水道特会)	2,073	草刈委託料(下水道特会)	2,073					
		合計	50,265	合計	49,428	合計	49,428	合計	49,428					
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0					
県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0						
起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0						
一般財源	48,294	47,355	47,355	47,355										
その他の財源	■特会 □受益 □基金 □その他	1,971	■特会 □受益 □基金 □その他	2,073	■特会 □受益 □基金 □その他	2,073	■特会 □受益 □基金 □その他	2,073						
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.24	0.25	0.25										
正職員人件費	2,112	2,175	2,175											
嘱託職員報酬額	0	0	0											
臨時職員賃金額	0	0	0											
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	52,377	51,603	51,603											
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	3,010.17千円/ha	2,965.69千円/ha												

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
	排水施設用地を適切に管理し、かつ排水既設の排水機能を維持するため、定期的な草刈が必要。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった ＜想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因＞				○要 ○不要
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている ■提供主体が市しかない □その他		＜その他の内容＞		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 ＜その他の内容＞		＜市実施の具体的な内容・必要性の理由＞		○要 ○不要
	○②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他		＜その他の内容＞						○要 ○不要
市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		改善検討
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 ＜その他の内容＞ 該当なし						○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 ＜期待した以上となった理由/期待以下であった原因＞		○要 ○不要
環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		改善検討
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 ＜その他の内容＞ 該当なし						○①想定どおり ○②想定どおりでなかった ＜想定どおりでなかった原因＞		○要 ○不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(ha)	目標値(b)(ha)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成		改善検討	
	0	16.7	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(ha)	達成率(%) (f/b×100)	＜目標を達成した理由/未達成となった原因＞		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		改善検討
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 □②現有体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった ＜想定どおり削減できなかった原因＞		
	51,603	774	＜削減の内容＞		＜超過理由等＞				
事業費削減率(%)		1.48							
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		改善検討
	0.32	単位 費用単位 ha 100万円	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	＜目標値以上となった理由/目標値以下であった原因＞		

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									

評価	評価コメント	改善策及び展開方向
----	--------	-----------

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	757	課コード	0604	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)																
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	河川愛護事業（利根川河川清掃）		実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	建設部・治水課							
	③事業主体	●市 ○その他（ ）			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市										
	⑤事業期間	～			⑥担当職員数	5人（換算人数）		0.29人								
	⑦事業費（人件費含む）	総事業費	2,539千円		当該（開始）年度	（当初）	2,539千円（うち人件費 2,523千円）		（変更後）	千円（うち人件費 千円）						
	⑧施策の位置づけ	施策コード	11301	重点プロジェクトへの位置づけ	重点1	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	（計画名）						
(2) 目的	施策目的・展開方向	多くの市民が自然にふれあい、憩うことができるよう、市民との連携により谷津ミュージアムや古利根沼周辺の保全などの核となる事業を推進します。また、くらしの中で自然が感じられるよう、「手賀沼沿い斜面林保全条例」と「緑地等保全及び緑地の推進に関する条例」に基づく指定やその維持管理に対する助成など河川愛護運動に伴い、市民、市役所職員、我孫子建設業会の協力を得て田中調節池から布佐に至る利根川堤防敷の清掃を実施する。			事業目的	手賀沼とともに、我孫子市の特徴的な自然環境を構成する利根川の自然環境の保全を図る。										
(3) 事業内容	内容				当該年度執行計画	9月 職員・国土交通省・建設業会へ協力依頼 10月 市民参加者募集を広報に掲載 11月 河川清掃実施 国交省へ実績報告										
(4) 達成目標（期待する成果）	当該年度	達成目標（期待する成果）			指標種類	指標	単位	人	想定値	100						
	令和3年度	堤防敷に捨てられているゴミを回収する事により、利根川の自然環境を維持する。			直接	河川敷清掃参加人数	人		実績値	0						
	令和4年度	堤防敷に捨てられているゴミを回収する事により、利根川の自然環境を維持する。			直接	河川敷清掃参加人数	人		実績値	100						
	令和5年度	堤防敷に捨てられているゴミを回収する事により、利根川の自然環境を維持する。			直接	河川敷清掃参加人数	人		実績値	100						
	令和6年度	堤防敷に捨てられているゴミを回収する事により、利根川の自然環境を維持する。			直接	河川敷清掃参加人数	人		実績値	100						
(7) 事業実施上の課題と対応					代替案検討	○有 ●無										
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度								
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)		
			食糧費	17		食糧費	16				食糧費	16			食糧費	16
		予算(決算)額	合計		17	合計	16	合計	16	合計	16					
		国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0		
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0			
県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0				
起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0				
一般財源			17			16			16			16				
その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他		0	□特会 □受益 □基金 □その他		0	□特会 □受益 □基金 □その他		0	□特会 □受益 □基金 □その他		0				
換算人数(人)			0.29			0.29			0.29							
正職員人件費			2,552			2,523			2,523							
嘱託職員報酬額			0			0			0							
臨時職員賃金額			0			0			0							
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)			2,569			2,539			2,539							
(11) 単位費用（事業費/活動結果指標）	25.69千円/人		25.39千円/人													

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価（評価結果に応じ、改善案検討（拡充も含む））				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？（事業の必要性）	利根川河川敷は、空き缶等の投棄によりゴミが散乱しており、自然環境に良い影響を与えていない。利根川河川敷の管理者は国土交通省であるが、市もこのような状況を見逃すわけにはいかず、対応する必要がある。こんな中、毎年、河川愛護月間に伴い、国土交通省から市と共同で河川清掃を行いたいという申し入れがある。利根川河川敷をきれいにするには、市だけではなく河川管理者である国土交通省と協力することにより、より効果的に取組むことが出来ると考えられる。利根川河川敷は広大な面積を有するため、事業実施には相当の労力を必要とする。市民、市職員を動員し、また、建設業界の協力（機械、人材の提供）を得られる本事業は、確実な成果を得られる。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？（市実施の必要性）	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない（理由） □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 ●②自治体である市が推進すべきである（理由） ■市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他				□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>			
市民の参加や市民との協働を工夫しているか？（体制づくり）	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容（又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容）		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ●⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他 <その他の内容>		広報やホームページ、利根川沿線の自治会へチラシを配布し、市民に参加を呼びかけ、また、我孫子建設業会に参加依頼をし、提供を得て実施している。		実施した参加・協働の具体的な内容（又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容）		○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している ■④環境負荷低減に貢献している □⑤その他 <その他の内容>		ゴミの撤去により利根川の美化に貢献している。		実施した具体的な内容		○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a) (人)	目標値(b) (人)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ○不要	
	0	100	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値（と現況値の差）と同等の水準である		実績値(f) (人)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ○不要
	事業費(c) (千円)	事業費削減額(d) (千円)	□①国・県助成制度活用 □②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託 □⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他		実績値(g) (千円)	対事業費(%) (g/c)×100	事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
	2,539	30	<削減の内容>		<超過理由等>				
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？（目標対費用）	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ○不要
	3.94	人	費用単位	10万円	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費	実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>	

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (758), 課コード (0604), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 經常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with a detailed budget breakdown.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation section with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a status legend (現状, 拡充, 縮小, etc.) and a space for comments and future strategies.

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	759	課コード	0604	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)												
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	管理用地境界の確定業務		実施計画への位置づけ	○有 ●無		②部課名	建設部・治水課			
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市						
	⑤事業期間	～			⑥担当職員数	4人 (換算人数) 0.15人						
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	1,405千円		当該(開始)年度	(当初)	1,405千円 (うち人件費 1,305千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)		
	⑧施策の位置づけ	施策コード	62401	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名)		
(2) 目的	施策目的・展開方向	市街地での浸水被害を軽減するため、計画的に幹線排水路、ポンプ場などの雨水排水施設や、調整地などの雨水流出抑制施設の整備・改修を進めるとともに、施設の適切な維持管理を行います。			事業目的	境界確定申請箇所の官・民境界の確定						
(3) 事業内容	内容	市と申請人、代理人(測量士等)及び関係地権者と共に申請箇所の境界立会を行い、境界同意を得、境界標の設置、確定図の作成。			当該年度執行計画	境界確定の申請に応じ、境界確定をおこなう。(随時)						
		当該年度活動結果指標	境界確定率 (境界確定件数/申請件数)	単位	%	想定値	100	実績値				
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	境界確定率 (境界確定件数/申請件数)	単位	%	(5) 現況値	(6) 目標値		
当該年度	境界同意を得る。境界標の設置。境界確定図の作成。				直接	境界確定率 (境界確定件数/申請件数)	%		0	100		
令和3年度	境界同意を得る。境界標の設置。境界確定図の作成。				直接	境界確定率 (境界確定件数/申請件数)	%			100		
令和4年度	境界同意を得る。境界標の設置。境界確定図の作成。				直接	境界確定率 (境界確定件数/申請件数)	%			100		
(7) 事業実施上の課題と対応	関係地権者の境界への疑問や不満に対し、分かりやすい説明を行う。				代替案検討	○有 ●無						
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度				令和3年度		令和4年度		
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
			境界確定業務 水路境界杭購入費	100 92		境界確定業務	100				境界確定業務	100
		予算(決算)額	合計	192	合計	100	合計	100	合計	100		
		国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0		
県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0				
起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0				
一般財源		192		100		100		100				
その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0				
(9) 財源内訳	換算人数(人)	0.14		0.15		0.15		0.15				
	正職員人件費	1,232		1,305		1,305		1,305				
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0				
	臨時職員賃金額	0		0		0		0				
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	1,424		1,405		1,405		1,405				
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	14.24千円/%		14.05千円/%									

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	申請者のさまざまな理由により境界確定の申請がある。また、公共用地を適切に管理するためにも境界確定は必要である。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている ■提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし						○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし						○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a) (%)	目標値(b) (%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ○不要	
	0	100	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f) (%)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>		
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c) (千円)	事業費削減額(d) (千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 □②現有体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g) (千円)	対事業費(%) (g/c) × 100	事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		○要 ○不要
	事業費削減率(%)		<削減の内容>		<超過理由等>				
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ○不要
	7.12	単位 費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e) × 100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									

評価	評価コメント	改善策及び展開方向
----	--------	-----------

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (760), 課コード (0604), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 (費用).

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定, (5) 効率性.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a row for 現状どおり推進 (拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他).

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	761	課コード	0604	会計種別	一般会計	予算の種類	■政策 ■経常 □なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)													
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	金谷排水機場ポンプの点検		実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	建設部・治水課				
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	■我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 □全市							
	⑤事業期間	令和2年度 ~ 令和6年度			⑥担当職員数	7人 (換算人数) 0.66人							
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	150,000千円		当該(開始)年度	(当初)	27,012千円 (うち人件費 5,742千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)			
	⑧施策の位置づけ	施策コード	62401	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名)			
(2) 目的	施策目的・展開方向	市街地での浸水被害を軽減するため、計画的に幹線排水路、ポンプ場などの雨水排水施設や、調整池などの雨水流出抑制施設の整備・改修を進めるとともに、施設の適切な維持管理を行います。			事業目的	浸水被害の多い地区の降雨を円滑に排除するために、適正な維持管理を実施して十分その機能を発揮し維持できるようにし、金谷排水機場の長寿命化修繕計画策定を行い事故や機能停止の未然防止及びライフサイクルコスト最小化を図り、この計画に沿って今後の維持修繕及び設備更新工事を行って行く。							
(3) 事業内容	内容	完成から約30年経過する金谷排水機場は田中調節池の水位が上がり内水が自然流下できなくなった場合に稼働させる重要な施設で、金谷排水機場に不具合があり稼働できないと、我孫子市北部地区で甚大な浸水被害が起きる。これを防ぐために次のことが必要となる。 金谷排水機場のポンプ施設点検。 金谷排水機場の長寿命化修繕計画策定。 金谷排水機場の維持修繕及び設備更新工事。			当該年度執行計画	金谷排水機場のポンプ施設点検。(4月~3月) 金谷排水機場の長寿命化計画策定(5月~3月)							
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	%	想定値	100		
当該年度	金谷排水機場のポンプ施設を点検することで、施設の機能を十分発揮できる。 金谷排水機場の長寿命化を図るため、長寿命化計画策定を行う。				直接	排水機場のポンプ施設点検の進捗率。 金谷排水機場の長寿命化修繕計画策定の進捗率。		%		0	100		
令和3年度	金谷排水機場を点検することで、施設の機能を十分発揮できる。 金谷排水機場の長寿命化長寿命化計画を基に、維持修繕工事及び設備更新工事の実施設計を行う。				直接	排水機場のポンプ施設点検の進捗率。 金谷排水機場の維持修繕工事及び設備更新工事の実施設計の進捗率。		%			100		
令和4年度	金谷排水機場を点検することで、施設の機能を十分発揮できる。 金谷排水機場の長寿命化長寿命化計画を基に、維持修繕工事及び設備更新工事を行う。				直接	排水機場のポンプ施設点検の進捗率。 金谷排水機場の維持修繕工事及び設備更新工事の進捗率。		%			100		
(7) 事業実施上の課題と対応	施設が老朽化しているため、計画的な改修計画が必要。 金谷排水機場の電気、機械設備の大規模な修繕や更新を事後保全的な維持管理で行った場合、中長期的に維持管理コストが非常に高くなる可能性が大きいと見られるため、長寿命化修繕計画を策定し予防保全的な維持管理を行う必要がある。				代替案検討	○有 ●無							
(8) 施行事項	平成31年度		令和2年度				令和3年度		令和4年度				
	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策		
		金谷排水機場施設維持管理費	1,578		金谷排水機場施設維持管理費 * 金谷排水機場長寿命化計画策定業務	1,448 19,822			金谷排水機場施設維持管理費 * 金谷排水機場電気機械設備更新実施設計(起債対象)	1,448		金谷排水機場施設維持管理費 * 金谷排水機場電気機械設備更新工事(起債対象)	1,448
	予算(決算)額	合計	1,578	合計	合計	21,270	合計	1,448	合計	1,448	合計	1,448	
	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	
県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%		
起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	100%	0	充当率	100%		
一般財源		1,578			20,344		1,448		1,448		1,448		
その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 ■その他	926	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	
換算人数(人)		0.29			0.66		0.66		0.66		0.66		
正職員人件費		2,552			5,742		5,742		5,742		5,742		
嘱託職員報酬額		0			0		0		0		0		
臨時職員賃金額		0			0		0		0		0		
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		4,130			27,012		7,190		7,190		7,190		
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		826千円/回			270.12千円/%								

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	定期点検を実施しない場合、市街地への雨水抑制に対応できないおそれがある。長寿命化計画を策定し、この計画に沿った対応をすることで、機能停止や事故の未然防止及びライフサイクルコストの最小化を図る。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給が確保された ○⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>		○要 ○不要
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	達成率(%)		○①目標値達成 ○②目標値未達成 <目標を達成した理由/未達成となった原因>	
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	実施予定の対策		実績値(g)(千円)	対事業費(%)		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>	
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下 <目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									
評価	評価コメント				改善案及び展開方向				

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (1537), 課コード (0604), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Main project overview table including purpose, content, budget, and performance indicators.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks. Includes sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns for current status (e.g., progress, expansion, contraction) and evaluation comments.

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (1568), 課コード (0604), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 經常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Main project overview table including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation table with columns for evaluation items, pre/post evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with options for status (e.g., 現状どおり推進, 拡充, etc.)

Final evaluation table with columns for 評価 (Evaluation) and 改善策及び展開方向 (Improvement measures and development direction).

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (1781), 課コード (0604), 会計種別 (公営企業会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns for 評価項目, 事前評価, 事後評価, and 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Summary table for post-evaluation with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (1976), 課コード (0604), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 經常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Main project overview table including ①事業名, ③事業主体, ⑤事業期間, ⑦事業費, ⑧施策の位置づけ, ②目的, ③事業内容, ④達成目標, ⑦事業実施上の課題と対応.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for 必要性, 参加・協働の工夫, 環境への配慮, 目標設定, 効率性.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表(令和2年度)

Header table with columns: 事業コード (2162), 課コード (0604), 会計種別 (公営企業会計), 予算の種類 (政策, 經常, なし)

Main project overview table (1. 事業の概要(PLAN)) containing sections for (1)事業概要, (2)目的, (3)事業内容, (4)達成目標, (7)事業実施上の課題と対応, (8)施行事項, (9)財源内訳, (10)人件費等, (11)単位費用

2. 事業の評価(DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for (1)事業が必要である理由・背景, (2)市が実施する必要性, 参加・協働の工夫, 環境への配慮, (1)目標設定は適切か?, (2)事業費削減の工夫, (3)目標値を実現するために投じた事業費は適正か?

3. 事後評価

○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)

Summary table with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (2164), 課コード (0604), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including objectives, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre/post evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for status (e.g., 現状どおり推進) and evaluation comments.

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	2222	課コード	0604	会計種別	公営企業会計	予算の種類	■政策 □經常 □なし
-------	------	------	------	------	--------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	下水道ストックマネジメント事業（雨水）		実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	建設部・治水課	
	③事業主体	●市 ○その他（ ）			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市				
	⑤事業期間	平成31年度 ～ 令和4年度			⑥担当職員数	7人（換算人数）		0.63人		
	⑦事業費（人件費含む）	総事業費	61,060千円		当該（開始）年度	（当初）	9,518千円（うち人件費 5,481千円）			
	⑧施策の位置づけ	施策コード	62401	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ（計画名）	
(2) 目的	施策目的・展開方向	市街地での浸水被害を軽減するため、計画的に幹線排水路、ポンプ場などの雨水排水施設や、調整池などの雨水流出抑制施設の整備・改修を進めるとともに、施設の適切な維持管理を行います。			事業目的	公共下水道施設のすべてを対象とし、将来にわたって適切に維持管理、改築、修繕を行っていくためストックマネジメント計画を策定し実施することを目的とする。				
(3) 事業内容	内容	ストックマネジメントに基づく予防保全型の施設管理を実現するため、明確かつ具体的な施設管理の目標を設定し、リスク検討に基づく点検・調査計画及び修繕・改築計画を策定する。また、これらの計画を実行し、評価、見直しを行うとともに施設情報を蓄積し、ストックマネジメントの精度向上を図る。具体的には、①導入準備、②施設情報の収集・整理、③施設管理の目標設定、④リスクの検討、⑤点検・調査計画の策定及び実行、⑥修繕・改築計画の策定及び実行、⑦評価の見直しという工程となる。なお、汚水事業（下水道課）、雨水事業（治水課）の計画策定を同時に行う。			当該年度執行計画	ストックマネジメントに伴う雨水幹線の点検調査業務委託：4月交付申請、5月契約 ・委託期間：6月～12月 ・業務内容：点検・調査の実施、点検・調査情報の蓄積				
		当該年度活動結果指標	雨水幹線の点検調査の延長		単位	km	想定値	3.6		
(4) 達成目標（期待する成果）	達成目標（期待する成果）			指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
当該年度	ストックマネジメントに伴う雨水幹線の点検調査業務委託を行う ・点検・調査の実施、点検・調査情報の蓄積			直接	雨水幹線の点検調査業務委託の進捗率		%	0	100	
令和3年度	修繕・改築計画に基づく修繕・改築計画業務を行う			直接	修繕・改築計画の進捗率		%		100	
令和4年度	修繕・改築実施設計を行う			直接	修繕・改築実施設計の進捗率		%		100	
(7) 事業実施上の課題と対応	公共施設の長寿命化については、市全体の施設の修繕・改築計画と整合を図る必要があるため、資産経営課及び下水道課、治水課で調整を図っていく必要がある。			代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
		政策内容	金額(千円)	政策内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策内容	金額(千円)	政策内容	金額(千円)
		*：ストックマネジメント計画策定業務委託（雨水分）（補助対象）	34,000	*：ストックマネジメント計画に基づく点検調査業務（雨水分）（交付金対象）	4,037		*：ストックマネジメント計画に基づく修繕・改築計画業務（雨水分）（交付金対象）	2,959	*：ストックマネジメント計画に基づく修繕・改築実施設計業務（雨水分）（交付金対象）	2,800
		合計	34,000	合計	4,037	合計	2,959	合計	2,800	
		予算（決算）額	34,000	予算（決算）額	4,037	予算（決算）額	2,959	予算（決算）額	2,800	
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	50%	17,000	補助率	50%	2,010	補助率	50%	1,400
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	100%	1,300
	一般財源			0			0			0
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.45		0.63		0.63		0.63		
	正職員人件費	3,960		5,481		5,481		5,481		
事業費（予算（決算）額+正職員人件費）		37,960		9,518		8,440		8,281		
(11) 単位費用（事業費/活動結果指標）		379.6千円/%		2,643.89千円/km						

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
(1) 事業が今必要である理由・背景は？（事業の必要性）	事前評価			事後評価（評価結果に応じ、改善案検討（拡充も含む））					改善検討
	下水道ストックは昭和40年代から平成10年代に集中的に整備され、今後急速に老朽化することが見込まれる。その一方で自治体の財政状況は逼迫化していることから、維持管理から改築更新までのライフサイクルコストの低減化や予防保全型施設管理の導入により、戦略的な維持管理・改築更新を行い、もって下水道サービス提供の持続性を図るため。			○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>					○要 ○不要
(2) 市が実施する必要性はあるか？（市実施の必要性）	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない（理由） ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他			□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった <市実施の具体的な内容・必要性の理由> □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>					○要 ○不要
	○②自治体である市が推進すべきである（理由） □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他								
市民の参加や市民との協働を工夫しているか？（体制づくり）	参加・協働の内容			工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容（又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容）			参加・協働の程度・内容
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし								○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>
環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点			取組む内容		実施した具体的な内容			環境への配慮
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし								○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a) (%)	目標値(b) (%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		○①目標値達成 ○②目標値未達成		
	0	100	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値（と現況値の差）と同等の水準である		実績値(f) (%) 達成率 (%) (f/b) × 100		<目標を達成した理由/未達成となった原因>		
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c) (千円)	事業費削減額(d) (千円)	■①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 □②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g) (千円) 対事業費 (%) (g/c) × 100		事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
	事業費削減率 (%)		<削減の内容>		<超過理由等>				
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？（目標対費用）	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		
	10.51	単位 費用単位 %	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h) 対目標値 (%) (h/e) × 100		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									

評価	評価コメント	改善策及び展開方向
----	--------	-----------